

講演内容

2023年5月20日（土）

	発表者	要約
1	平田 絢子	皆様にご協力いただいた「屠体給餌クラウドファンディング」など屠体給餌プロジェクトの概要をお話しします。
2	細谷 忠嗣	増え過ぎた野生動物による農林業等への被害対策として捕獲が進められ、捕獲個体の利活用が課題となっている。捕獲個体を適切に処理し動物園の肉食動物に屠体給餌する手法を取り入れ、来園者への環境教育イベントへの活用も進めている。
3	中山 侑	皆様にご協力いただいた「屠体給餌クラウドファンディング」の支援金により、屠体給餌の科学的検証を進めています。その一つに屠体給餌の栄養面での有用性や適切な栄養管理を行うための方法を検討しています。今回は現在の状況についてご報告させていただきます。
4	杉 萌梨 井上 英治	千葉市動物公園では、肉食動物に皮や骨がついたままの肉を与える屠体給餌が行われています。撮影された動画を用いて、給餌前後の動物たちの行動の変化について調査を進めており、今回の発表では、寝室におけるハイエナの行動の変化についての解析を紹介いたします。
5	辻榮 亮 鎬木 一誠	トークセッション

2023年5月21日（日）

	発表者	要約
1	町田 啓	千葉市内における有害鳥獣の被害（農作物などを除いた生活被害）の実態と、市で実施している対策についてお伝えします。
2	大谷 直樹	イノシシ、アライグマ、ハクビシン等、農作物被害をもたらす鳥獣の千葉市内での生息・拡大の現状と、市が行っている農作物被害を防止するための捕獲や農地への侵入防止対策等について、千葉市農政センターの職員が紹介。
3	原田 祐介	国内、特に千葉県において有害鳥獣として駆除された生き物達がどうなっているのか。また、今後何を行なっていくべきか？
4	沖 浩志	全国の中山間地域で課題となっている獣害。館山ジビエセンターではジビエを肉としての利用だけではなく、地域の自然資源を持続的に利用するために活動している。当発表では活動事例について報告する。
5	大阪谷 未久	駆除された個体のジビエ活用が進んできたなか、なぜ皮の利用は進まないのか。皮活用の重要性とその難しさを、県内の獣害実態や最新のデータで見えてきた食肉副産物故のハードルから解説していく。また、解決に向けた必要な方策と、さらに展開していくうえで土に還るコンセプトの必要性について考察する。